

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（ 有限会社鹿塩の湯湯元山塩館 ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			日常の対話を通じ差別のない環境維持に努めている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			日常の対話を通じハラスメントのない環境維持に努めている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			シフト制による勤務時間を徹底し、過度な長時間労働を防いでいる								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)	【非該当】		雇用なし				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			日々の清掃と点検を徹底し、安全な労働環境を維持している			3.8					8.8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			日常的な声がけや対話を通じ、スタッフの心身の健康状態を確認している			3.4														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			年齢や性別を問わない公平な配慮で、女性や高齢者が活躍している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			地域の観光研修の案内を共有し、必要な学習の機会を提供している				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			業務内容や役割に応じた適正な給与体制を整え、公平に支給している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			検診を受けられるよう声がけや、シフトの配慮をしている			3.8					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			調理くずや献立の品数や盛り付けの量などを見直し、客室ゴミの徹底した分別により適正な処理を行っている											11.6	12.5		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			毎月の電気・ガス・灯油の検診を管理し、使用量の推移を把握している							7.3						13.2				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			館内および客室の証明のLED化を順次進めています。また、お客様不在時の客室等の空調や照明をこまめに切ることを徹底しています							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			客室や大浴場の清掃時に使用する洗剤・洗浄剤について環境負荷低いものを導入し、用途に合わせた使用をしている			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			地域の自然環境を守るため、旅館周辺の美化や草刈りなどの仕組みを見直し、継続とともに地域の生態系保護に寄与します						6.6									15.1		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			客室設置の歯ブラシを環境に配慮した竹製への切り替え、割箸をエコ箸へ切り替えを進めています												12.5		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			浄化槽を設置し、排水を法的に定められた基準以下まで適切に浄化して放流。また、専門業者による法定点検と清掃をし、地域の河川や自然環境の水質汚染に努めています						6.3 6.4 6.6						12.5					
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)	【非該当】		小規模な旅館であり、大企業向けのISO14001やエコアクション21等の外部環境規格の承認取得はコストや人員配置の面から現実的ではないため			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)		【予定】	「長野県SDGS推進企業登録制度」への登録完了後、当館の環境への取り組み内容を、令和8年のうちに公式ホームページやSNSにて正しく公開します												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)	【非該当】		検討したことはあるが、立地やコスト面の合致がなく、なかなか実現までに課題が多いと考える							7.2						13				
21	公正な 事業 慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)	【非該当】		小規模旅館であり、仕入するすべての備品や食材について、国際的な認証を受けた天然資源(FSC認証やMSC認証)に限定して調達ルートを管理・監査することは困難と考える												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			取引先との健全で透明な関係を維持するため、不適切な謝礼の授受や、特定の業者への不当な便宜供与を行わない																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			他の同業者や取引先との間で不当な価格カルテルや排除行為などの不正競争行為に関与せず、公正な事業活動をしています																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)	【非該当】		小規模な旅館業であり、特許権や独自の商標、意匠などの権利を頻繁に出願できるのか。検討できるのであれば方法を知りたい。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			宿泊名簿や予約システムに含まれるお客様の個人情報について、PCのパスワード管理や紙の顧客台帳の管理を徹底し、個人情報保護方針に則り漏洩防止に努めています																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)	【非該当】		対象と思われる資源の仕入や使用をする業種ではない																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)	【非該当】		自社で監査や管理する組織基盤を持たないため					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	取引先との共存共栄を目指し、「パートナーシップ構築宣言」を年内(令和8年12月まで)に作成します			3					8	9	10							17

項目番号		チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			食品衛生法に基づき「HACCPに沿った衛生管理計画」を策定し、厨房の衛生状態を日々記録・管理しています。また温泉レジオネラ属菌検査も定期的を実施し、お客様の安全性を確保しています			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			公式ホームページや脱衣室においては温泉の泉質や管理について、お料理の食材産地の情報はお客様へ直接提供しています									9			12.8				16.6	
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	連泊のお客様を対象に、客室清掃やシーツ・タオル交換を不要とする「エコ清掃プラン」を、令和8年12月までに新たに造成し、水資源や洗濯エネルギーに削減を目指します						6						12.5	13.3	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			完全なバリアフリー化は建物の構造上困難です。但し、階段の手すりの改善と食事処の廊下の段差の修繕をしています	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10.2	11.7	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			地域の共同清掃活動や、お祭りの準備片付けへの参加や協力の継続、地域の景観維持に貢献している				4					9		11.4	12		14	15		17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			若者のスポーツ選手育成の取組に賛同し、自転車競技への定期的な資金支援等を少額ながらも応援をしている			3	4							11			14	15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ (任意)			食事に提供するお米は地元農家さんと契約、ジビエも地元・長野県産、野菜は自家菜園の他地域のものを仕入ており、地域経済の維持や発展に貢献している								8	9		11	12.6	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 (必須)			経営理念や本SDGS方針を社内で共有し、日々の宿の運営や業務手順が適切に遂行される体制を維持しています								8	9							16.6	17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			旅館業法、食品衛生法、消防法などの関係法令を遵守するため、法定の定期点検などを実施、安全な運営をしています																16.6	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			館主をSDGS推進責任者とし、厨房や接客の担当者と直接情報連携を図りながら、少人数でも館内全体で取り組みを円滑に進める体制を整えています																16.7	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 (必須)			宿泊客からの口コミやご意見、また地元の仕入れ業者との日々の対話を通じ、宿のサービス品質の改善や課題解決に活かしています																16.7	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)	【非該当】		小規模な旅館であり、網羅的なリスク管理委員会の設置や独立したリスク評価システムの構築と運用が困難。																16	
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)	【非該当】		本業とは完全に独立した社会貢献活動を組織的に企画・実施する人員や部署を有していない																16.7	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			地震や豪雨等の自然災害に備え、感染症発生時作成されたような安全確保と営業再開のための手順をまとめた「事業継続力強化計画」を策定し認定済み。令和6年8月									9		11		13 13.1			16.7	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			明治時代からの宿を代々受け継いでいる。現在、次世代への安定した引継ぎを考えており、歴史ある宿を未来へつなぐため、日々の業務を時代に合わせ構築中。								8.3	9		11.4					17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定